

## 安全運転に役立つ「1、2、3」

安全運転のために時間のゆとりを持って出発しましょう。

運転中に考えごとをすると危険です。

## 安全運転のための「1、2、3」

- 交差点で停止中に試してください。

「1、2、3」を数秒試すと前方の見え方が変わるのを体験していただけます。急に視野が広くなり、前方を見ているのに左右がよく見えたりします。また信号が視野に入っていることにも気づくでしょう。

ふだんは運転中は前の車のストップランプや方向指示器ばかり注意している事がよく分かります。

- 走っている時に「1、2、3」をしてみます。

### a 車間距離

前方車両に近づき過ぎているときには自然と安全距離まで車間距離が取れます。

落ち着いて考えてみると、数メートル詰めすぎても、危険なだけで到着時間にはほとんど関係ありません。

すぐに信号で止まることもあります。

前車を追尾して車間距離を詰めて走る事は危険なだけで何もよいことはなさそうです。

恥ずかしい私の体験・・・急ぐ必要がなくても飛ばし屋さん・要注意

私は実際に走行中に前車が車間距離をとりすぎているのに腹を立てました。「1、2、3」を試した時に自然な車間距離が取れました。

そして気づいたのです。

「そんなに急いで何処行くの」。（行き先が天国になりかねない危険性が）

急いで帰る必要もない、わが家まで後数分の現実を思い出しました。

そしてもう一つ分かった事は前車の前にはあと一台は入れそうな距離があったのですが、信号で止まったときには普通に後につけます。

イライラして腹が立った自分が恥ずかしかったです。

### b 視野

走行中に「1、2、3」をすると視野が広がり、前方がよく見えて左右の歩く人も視野に入ります。前車も見えているので運転にさしつかえません。わき道との交差点の様子も見えていたりします。

- c 混雑交差点で。前方からの右折車などがあって状況把握が難しい時は「1、2、3」をして頭で考えず、感覚に任せます。多分うまく行きます。